

反転攻勢のステージへ

ヤマシンフィルタ株式会社

2024年3月期第2四半期

決算説明資料

2023年11月24日

- 北米中心に建機市場は堅調に推移したものの、前年度のコロナ回復需要の影響により減収。適正価格への価格転嫁実施による収益改善は進展も、原料高・セールスマックス等の影響により減益。

建機用フィルタ事業（事業環境）

市場

日本

北米

アジア

欧州

中国

➡ 建機の稼働時間と新車需要は概ね堅調に推移 ➡ 需要低迷継続

主要原材料

高騰

エネルギーコスト

高騰

エアフィルタ事業（事業環境）

オフィスビル等の交換需要は回復
CO₂削減や産業廃棄物削減といった環境課題のもと
製品の高い競争力・信頼性を活かし
ビジネスの拡大を図る

2024年3月期
第2四半期
業績動向

連結売上高：**87億9百万円**
前年同期比： **4.5%減収**

連結営業利益：**4億20百万円**
前年同期比： **19.3%減益**
※自己資本比率：**81.2%**

建機用フィルタ	前年同期比	5.6%減収	74億10百万円	中国以外の主要市場における建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移 前年度におけるコロナ渦からの回復特需により減収
エアフィルタ	前年同期比	2.3%増収	12億98百万円	

- 前回公表値と比較し、第3四半期以降の需要は緩やかな減少傾向にあることから減収見通し。利益面では価格転嫁、原価低減活動効果により増益が見込まれ上方修正を実施。



2024年3月期
第2四半期
業績動向

連結売上高：**173億90百万円**
前回公表値比：**1.3%減収**

連結営業利益：**8億20百万円**

前回公表値比：**36.7%増益**

※EPS7.3 (+1.0) ROE2.5% (+0.3Pt)

建機用フィルタ 前回公表値比 0.7%減収 147億10百万円

ロシア、中東情勢含め外部環境は不透明、建機需要は減少傾向
売上高は減収だが、価格転嫁、原価改善により増益見通し

エアフィルタ 前回公表値比 4.3%減収 26億80百万円

セールスマックス影響等により減収だが、利益面では通期据え置き

I

2024年3月期第2四半期実績及び2024年3月期通期見通し

P 4

II

市場を取り巻く環境

P31

III

今後の戦略

P45

決算

I 2024年3月期第2四半期実績及び 2024年3月期通期見通し

2024年3月期 第2四半期業績 (2023年7月-9月)

	2023/3期 Q2 実績		2024/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率		
売上高	4,953	4,406	△546	△11.0%		
建機用フィルタ※	4,319	3,800	△519	△12.0%		
エアフィルタ	633	606	△26	△4.3%		
営業利益 (セグメント利益)	427	307	△119	△27.9%		
建機用フィルタ	423	318	△105	△24.9%		
エアフィルタ	3	△10	△14	△362.1%		
営業利益率	8.6%	7.0%	△1.6Pt			
経常利益	400	322	△78	△19.6%		
経常利益率	8.1%	7.3%	△0.8Pt			
四半期純利益	259	206	△53	△20.5%		
四半期純利益率	5.2%	4.7%	△0.6Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	134.0	141.0	7.0	5.2%	
	EUR	138.7	153.4	14.7	10.6%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

(単位：百万円)

	2023/3期 末	2024/3期 Q2末	増減額	増減率
流動資産	12,923	13,697	773	6.0%
現金及び預金	4,113	5,119	1,005	24.4%
受取手形及び売掛金	4,446	4,535	88	2.0%
棚卸資産	4,141	3,818	△323	△7.8%
その他	221	224	3	1.4%
固定資産	12,658	12,630	△27	△0.2%
有形固定資産	11,683	11,503	△180	△1.5%
無形固定資産	172	209	36	21.4%
投資その他資産	801	917	115	14.4%
資産合計	25,581	26,327	746	2.9%

	2023/3期 末	2024/3期 Q2末	増減額	増減率
流動負債	3,343	3,887	544	16.3%
支払手形及び買掛金	1,453	1,642	189	13.1%
短期借入金及び 1年内返済予定 長期借入金	683	1,003	320	46.8%
その他	1,206	1,241	34	2.9%
固定負債	1,260	1,073	△186	△14.8%
長期借入金	722	521	△201	△27.9%
退職給付に係る負債	257	268	11	4.4%
その他	280	283	3	1.2%
純資産合計	20,977	21,366	388	1.9%
負債・純資産合計	25,581	26,327	746	2.9%

自己資本比率 82.0% 81.2%

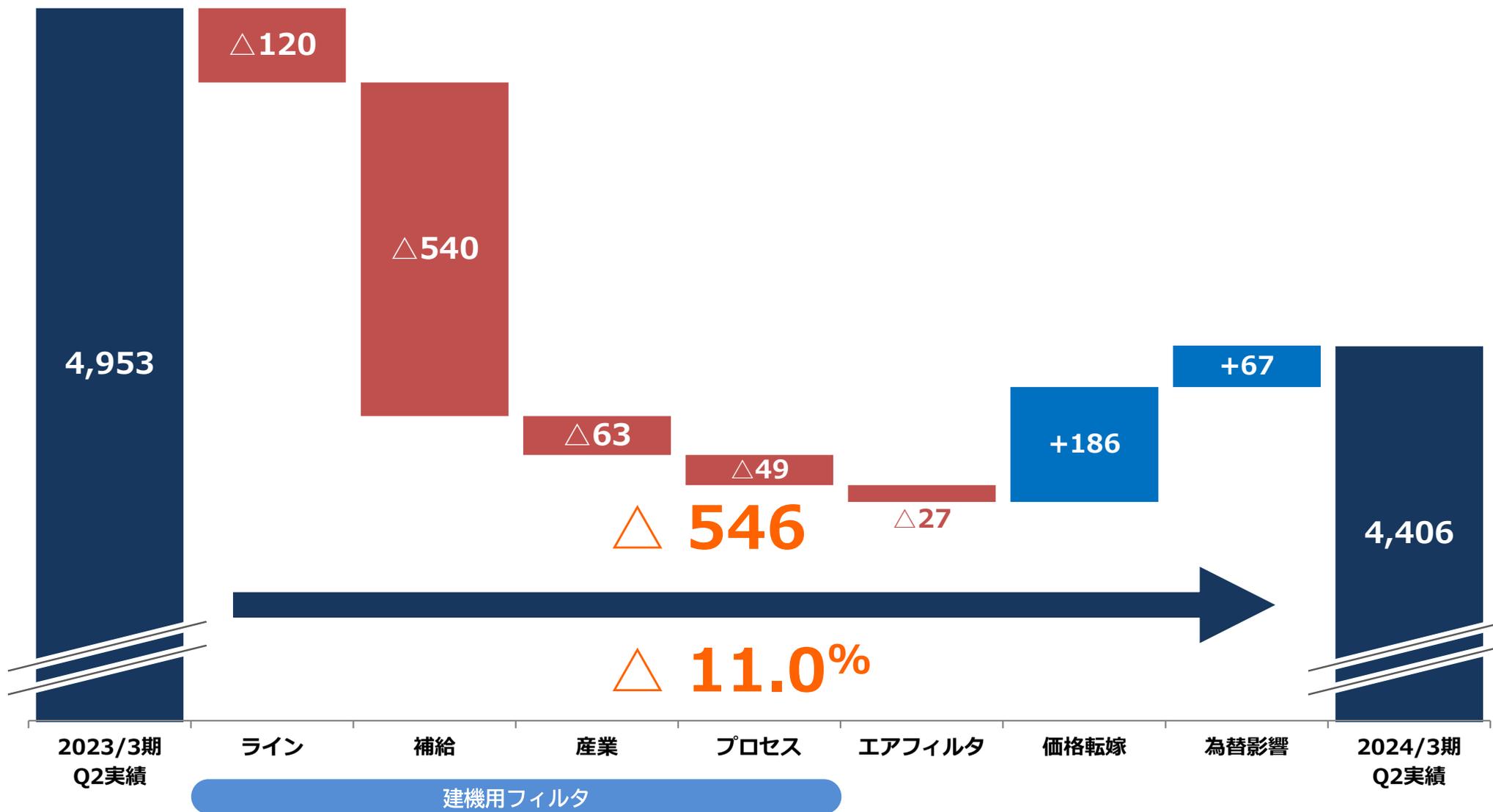
	2023/3期 Q2 実績	2024/3期 Q2 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	3,895	3,471	△423	△10.9%
ライン品	1,463	1,424	△39	△2.7%
補給品	2,431	2,047	△384	△15.8%
産業用フィルタ	198	143	△54	△27.6%
プロセス用フィルタ	226	185	△41	△18.2%
建機用フィルタ 合計	4,319	3,800	△519	△12.0%
エアフィルタ	633	606	△26	△4.3%
売上高合計	4,953	4,406	△546	△11.0%

	2023/3期 Q2 実績		2024/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	4,319	87.2%	3,800	86.2%	△519	△12.0%
国内	2,123	42.9%	1,691	38.4%	△432	△20.4%
北米	980	19.8%	704	16.0%	△275	△28.1%
中国	356	7.2%	269	6.1%	△86	△24.3%
アジア	408	8.2%	635	14.4%	226	55.5%
欧州	449	9.1%	499	11.3%	49	11.1%
その他（中東他）	1	0.0%	0	0.0%	△1	△73.8%
エアフィルタ（国内）	633	12.8%	606	13.8%	△26	△4.3%
売上高合計	4,953	100.0%	4,406	100.0%	△546	△11.0%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)

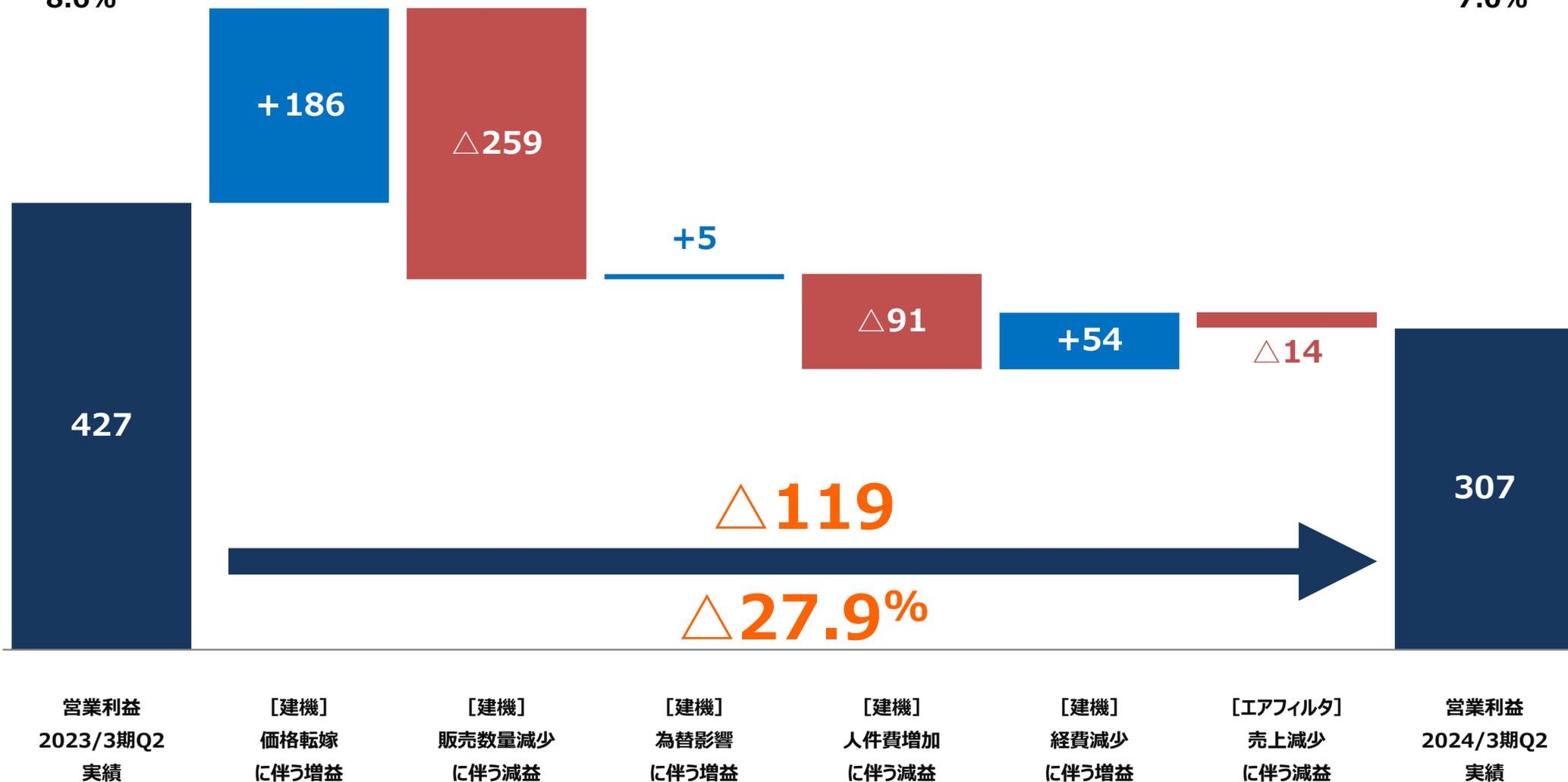


営業利益の増減要因 (2023/7-9)

(単位：百万円)

営業利益率
8.6%

営業利益率
7.0%



2024年3月期 第2四半期 累計業績 (2023年4月-9月)

	2023/3期 Q2累計 実績		2024/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率		
売上高	9,123	8,709	△413	△4.5%		
建機用フィルタ※	7,852	7,410	△442	△5.6%		
エアフィルタ	1,270	1,298	28	2.3%		
営業利益 (セグメント利益)	521	420	△100	△19.3%		
建機用フィルタ	516	381	△135	△26.2%		
エアフィルタ	4	39	34	730.0%		
営業利益率	5.7%	4.8%	△0.9Pt			
経常利益	458	417	△40	△8.9%		
経常利益率	5.0%	4.8%	△0.2Pt			
四半期純利益	271	226	△45	△16.7%		
四半期純利益率	3.0%	2.6%	△0.4Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	134.0	141.0	7.0	5.2%	
	EUR	138.7	153.4	14.7	10.6%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

	2023/3期 Q2累計 実績	2024/3期 Q2累計 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	7,032	6,739	△292	△4.2%
ライン品	2,763	2,970	206	7.5%
補給品	4,268	3,769	△499	△11.7%
産業用フィルタ	383	312	△70	△18.4%
プロセス用フィルタ	437	358	△78	△18.0%
建機用フィルタ 合計	7,852	7,410	△442	△5.6%
エアフィルタ	1,270	1,298	28	2.3%
売上高合計	9,123	8,709	△413	△4.5%

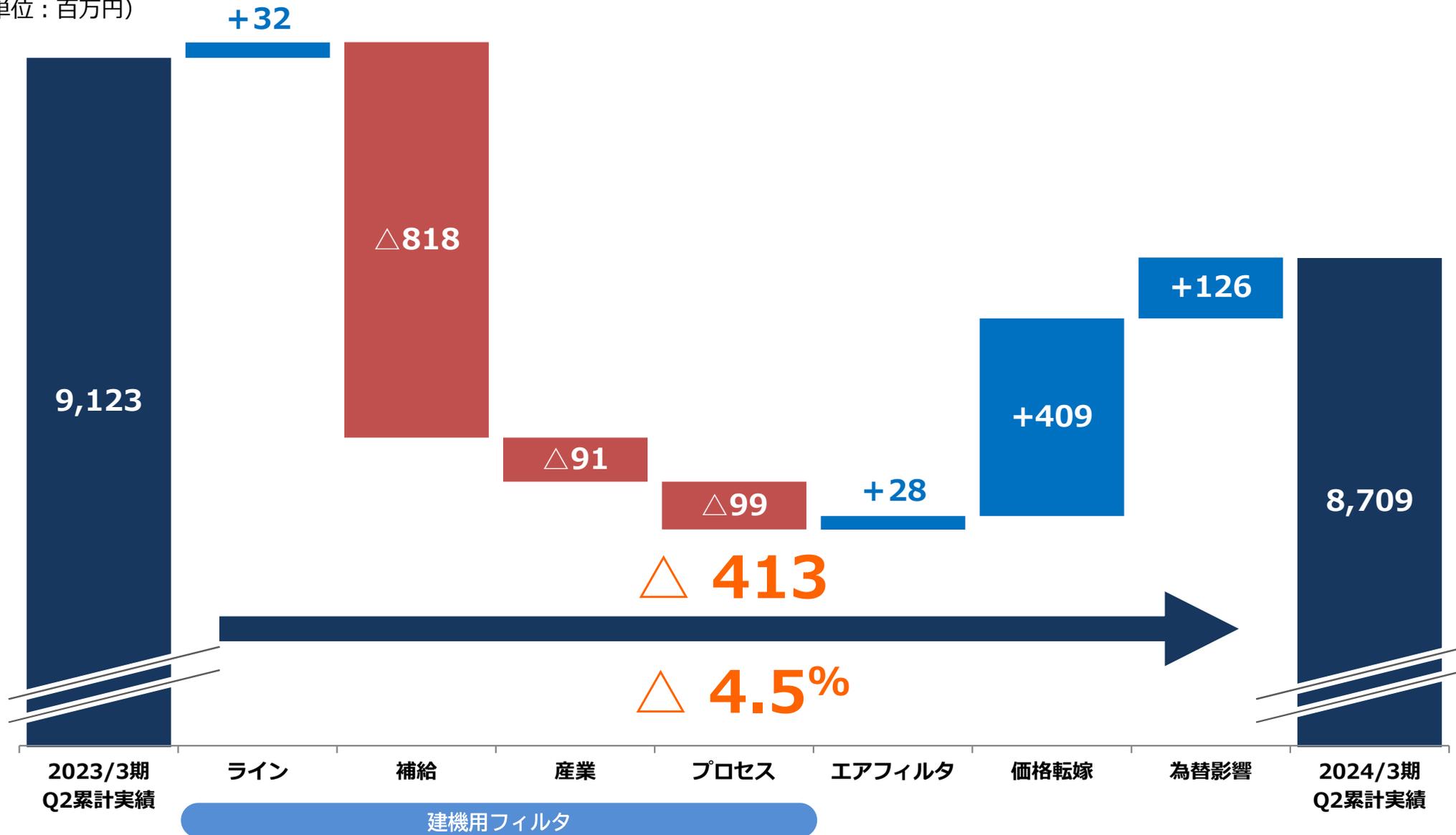
	2023/3期 Q2累計 実績		2024/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	7,852	86.1%	7,410	85.1%	△442	△5.6%
国内	3,964	43.5%	3,403	39.1%	△561	△14.2%
北米	1,640	18.0%	1,290	14.8%	△350	△21.3%
中国	624	6.9%	674	7.7%	49	8.0%
アジア	743	8.1%	1,110	12.8%	367	49.4%
欧州	875	9.6%	930	10.7%	54	6.2%
その他（中東他）	3	0.0%	0	0.0%	△3	△79.9%
エアフィルタ（国内）	1,270	13.9%	1,298	14.9%	28	2.3%
売上高合計	9,123	100.0%	8,709	100.0%	△413	△4.5%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

売上高の増減要因 (2023/4-9)

(単位：百万円)



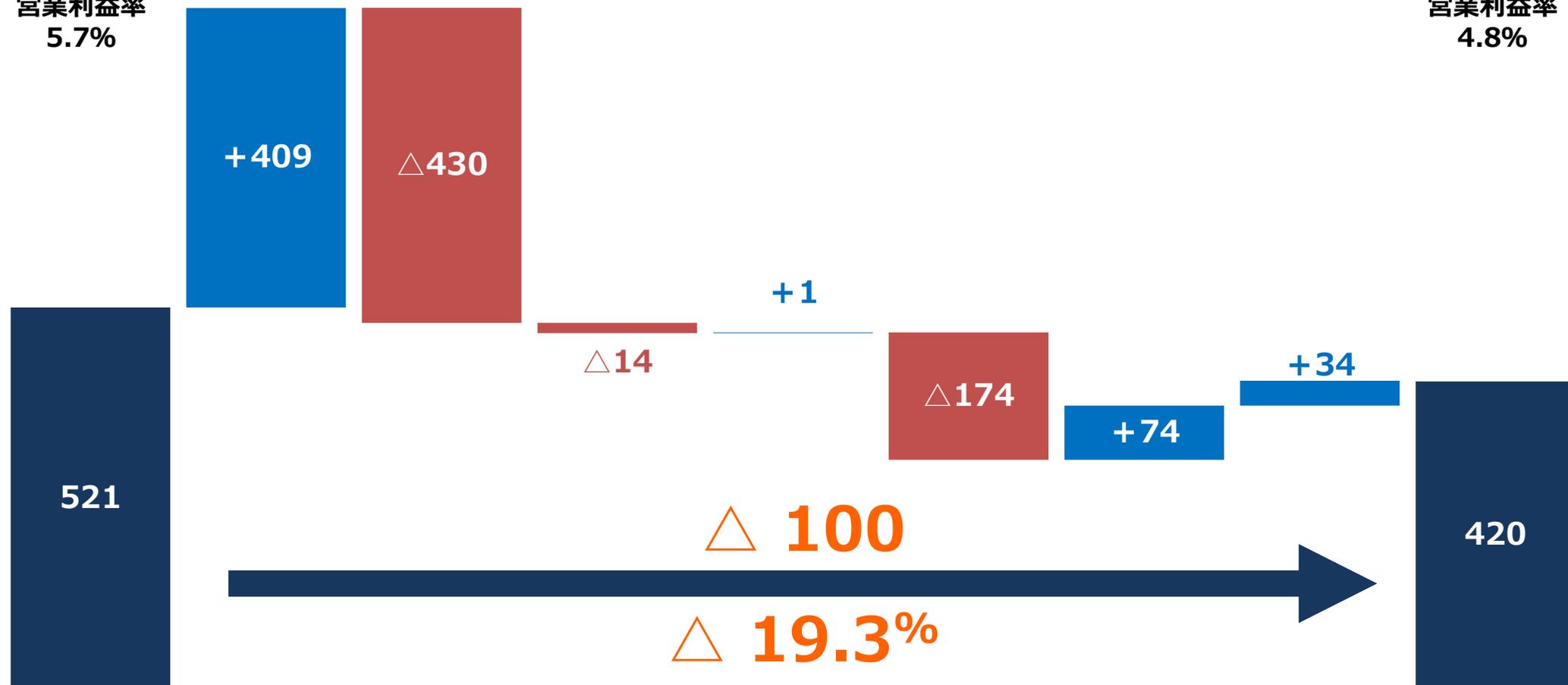
* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

営業利益の増減要因 (2023/4-9)

(単位：百万円)

営業利益率
5.7%

営業利益率
4.8%



営業利益
2023/3期
Q2累計実績

[建機]
価格転嫁
に伴う増益

[建機]
販売減少
に伴う減益

[建機]
材料費高騰
に伴う減益

[建機]
為替影響
に伴う増益

[建機]
人件費増加
に伴う減益

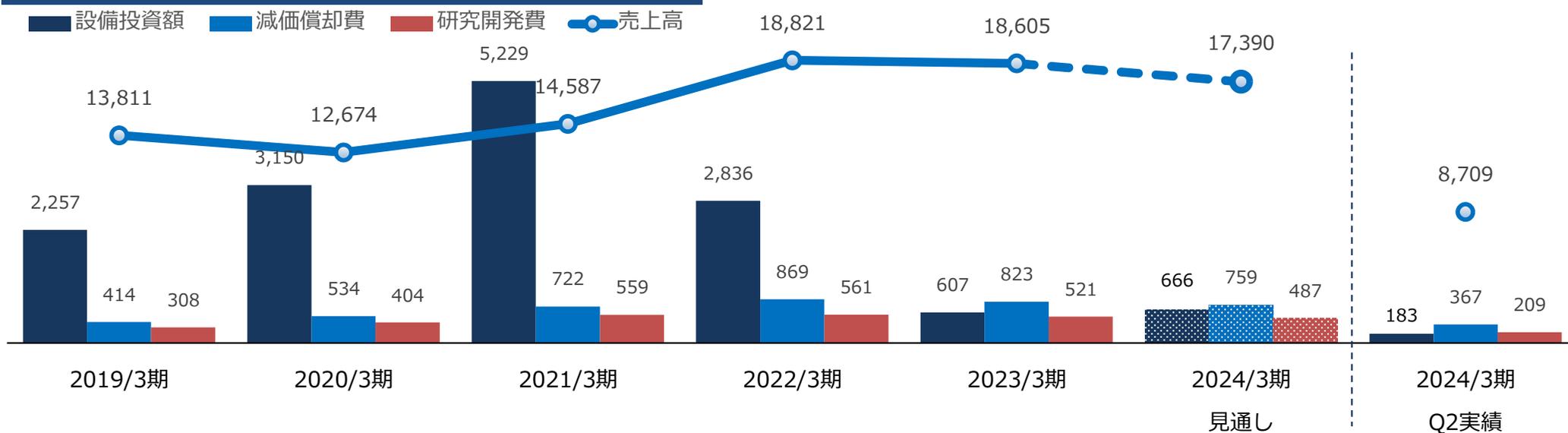
[建機]
経費減少
に伴う増益

[エアフィルタ]
収益性改善
に伴う増益

営業利益
2024/3期
Q2累計実績

単位 百万円	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期
	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	Q2 実績
売上高	13,811	12,674	14,587	18,821	18,605	17,390	8,709
設備投資額	2,257	3,150	5,229	2,836	607	666	183
土地・建物	1,587	2,682	3,193	1,488	34	24	14
その他設備投資	669	467	2,036	1,347	573	642	168
売上高比率	16.3%	24.9%	35.9%	15.1%	3.3%	3.8%	2.1%
減価償却費	414	534	722	869	823	759	367
売上高比率	3.0%	4.2%	5.0%	4.6%	4.4%	4.4%	4.2%
研究開発費	308	404	559	561	521	487	209
売上高比率	2.2%	3.2%	3.8%	3.0%	2.8%	2.8%	2.4%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



～2023年3月期

2024年3月期～

生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC23



Promptly
迅速



Activated
かつ効果的な



Cost reduction
コスト削減計画

20



削減目標・実績金額

単位：百万円

		Q1 目標	Q1 実績	Q2 目標	Q2 実績	Q3 目標	Q3 実績	Q4 目標	Q4 実績	通期 目標	通期 実績
PAC23	製造原価	46	51	54	55	54		44		200	107
	販管費	3	2	3	2	3		3		12	5
合計		49	54	57	58	57		48		212	112

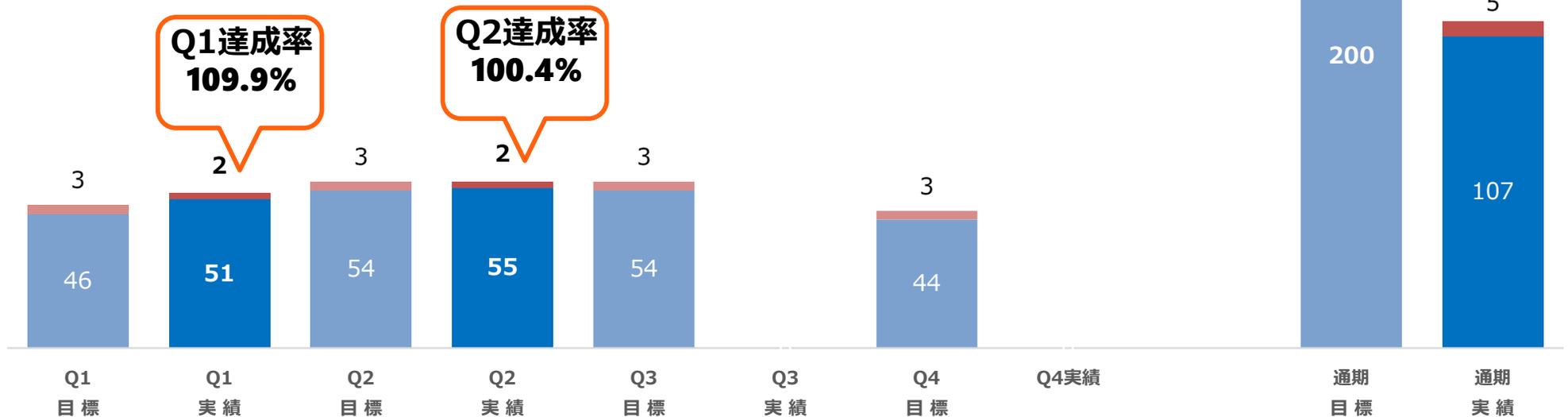
通期進捗率
52.8%

進捗状況

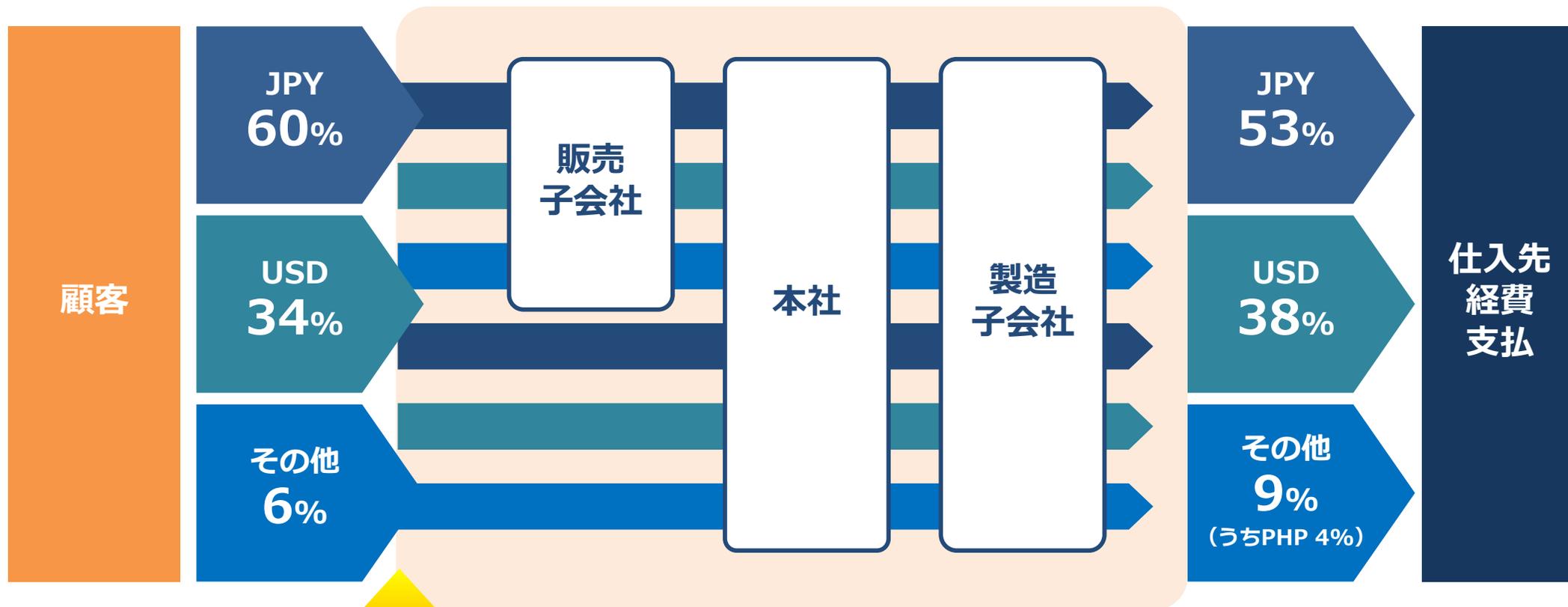
■ 製造原価

■ 販管費

(単位：百万円)



EUR円安進行及び東南アジア地域のUSD建て売上増加に伴い約1百万円の営業利益へのプラス影響



取引通貨の6割はJPY

- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は軽微 (2023年4月-9月)
- 為替マリー強化を図る

管理部門にとどまらず、現場にまで企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

MAVY'sの全体像と責任部署 (2024/3期)

Key Goal Indicator (KGI)

※KPI算定の前提

Prv : 2023/3期 通期実績

Cur : 2024/3期 修正予算 (2023/11/6開示)

Key Performance Indicator (KPI)

Key Success Factor (CFS)

責任部署

24.3期部門目標 (action plan)

24.3期進捗

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (CFS)	責任部署	24.3期部門目標 (action plan)	24.3期進捗																																																					
MAVY's Prv: -4.4% Cur: -4.7%	売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	・価格転嫁推進 ・建機: 主要顧客シェア拡大(ロングライフ、センサ) ・建機: 中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタ: 新製品 (NanoWhelp) による販売拡大 (直販、国内外) ・新規事業領域への進出	・顧客との価格転嫁交渉継続 ・ハイブリッドフィルタの各社提案進展 ・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 ・エアフィルタ新製品販売進展 ・アパレル業界向け供給継続進展 (脱ダウン)																																																			
						売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・PAC23 ・購買力強化、物流コスト低減 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 ・共通購買(アクション)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展																																													
												売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・M&A(収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)																																							
																		売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・新素材の開発 (リサイクル、バイオマス等) ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発 ・開発段階からの原価低減	・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速 ・原価企画委員会によるVA・VE活動実施																																	
																								売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・人件費率 Prv: 14.7% Cur: 17.7%	・最適な人員構成 人事・総務	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用																										
																														売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・売上債権回転率 Prv: 4.1 Cur: 3.9	・債権管理 営業 財務・経理	・債権回収率の改善 ・ペーパレス化推進	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応																			
																																				売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・棚卸資産回転率 Prv: 4.2 Cur: 4.4	・適正在庫の設定 生産 営業	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のパレート分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中													
																																										売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・仕入債務回転率 Prv: 5.4 Cur: 6.7	・債務管理 生産	・ワーキングキャピタル改善 ・ペーパレス化推進	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化							
																																																売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発	・有形固定資産回転率 Prv: 1.6 Cur: 1.5	・設備計画 (R&D・生産) 経営企画 総務・生産・開発	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行	
																																																						売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発
売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																																																					
						売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																																															
												売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																																									
																		売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																																			
																								売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																													
																														売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																							
																																				売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発																	
																																										売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発											
																																																売上高営業利益率 Prv: 6.6% Cur: 4.7%	売上高営業利益率 Prv: 39.3% Cur: 40.3%	売上高伸長率 Prv: -1.1% Cur: -6.5%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	営業・開発					

2024年3月期 通期業績見通し

建機用フィルタ事業

- ロシア、中東情勢含め外務環境は不透明な状況が継続、下期以降の建機需要は減少傾向
- アルミや鋼材を中心とした主要原材料価格の高騰の継続、人的資本への投資の一環として給与水準の引き上げ実施による固定費増加
- 更なる価格転嫁の実行、設計開発段階での原価低減、原材料コストの削減、製造プロセスの改善、品質管理の更なる強化を進めることによりコスト削減を図る

エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要は堅調に推移
- ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや商業施設、工場等への採用に向けた取り組み進展
- 価格転嫁継続に加え、生産効率の改善を軸とした原価低減活動による収益性改善を見込む

	2023/3期		2024/3期		期初予算比 (百万円)
	実績 (百万円)	2023/3期	期初予算 (百万円)	修正予算 (百万円)	
売上高	18,605	17,620	17,390	△230	
建機用フィルタ※	15,945	14,820	14,710	△110	
エアフィルタ	2,659	2,800	2,680	△120	
営業利益	1,235	600	820	220	
建機用フィルタ	1,150	510	730	220	
エアフィルタ	84	90	90	0	
営業利益率	6.6%	3.4%	4.7%	1.3Pt	
経常利益	915	650	860	210	
経常利益率	4.9%	3.7%	4.9%	1.3Pt	
当期純利益	645	450	520	70	
当期純利益率	3.5%	2.6%	3.0%	0.4Pt	
為替レート (円)	USD	135.5	130.0	145.0	11.5%
	EUR	141.0	140.0	155.0	10.7%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

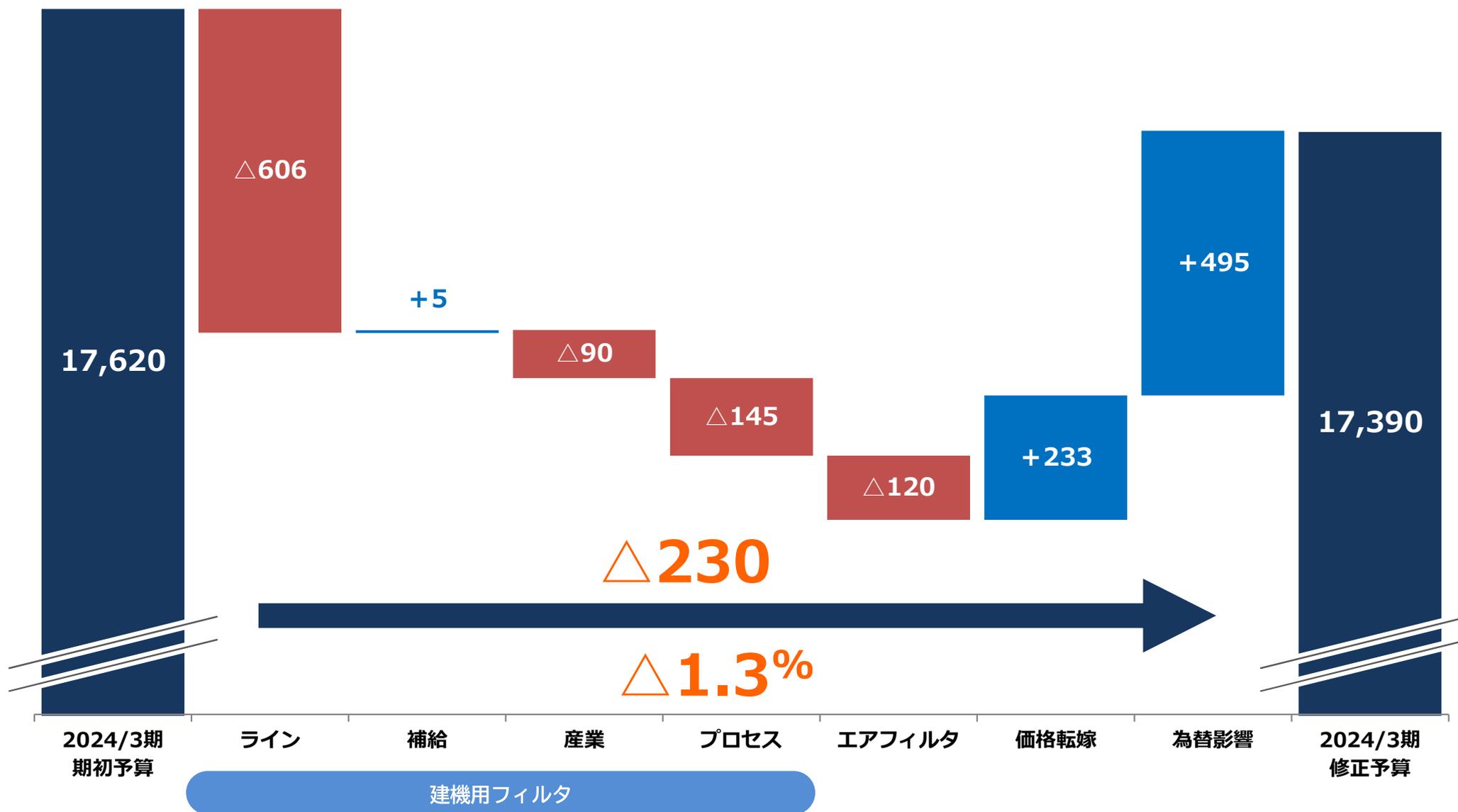
	2023/3期 実績		2024/3期 期初予算		2024/3期 修正予算		期初予算比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	14,328	77.0%	13,304	75.5%	13,390	77.0%	86	0.6%
ライン品	5,911	31.8%	6,190	35.1%	5,865	33.7%	△324	△5.2%
補給品	8,417	45.2%	7,114	40.4%	7,525	43.3%	411	5.8%
産業用フィルタ	749	4.0%	703	4.0%	640	3.7%	△62	△8.9%
プロセス用フィルタ	867	4.7%	812	4.6%	678	3.9%	△133	△16.4%
建機用フィルタ 合計	15,945	85.7%	14,820	84.1%	14,710	84.6%	△110	△0.7%
エアフィルタ	2,659	14.3%	2,800	15.9%	2,680	15.4%	△120	△4.3%
売上高合計	18,605	100.0%	17,620	100.0%	17,390	100.0%	△230	△1.3%

	2023/3期 実績		2024/3期 期初予算		2024/3期 修正予算		期初予算比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	15,945	85.7%	14,820	84.1%	14,710	84.6%	△110	△0.7%
国内	7,980	42.9%	6,932	39.3%	6,887	39.6%	△45	△0.7%
北米	3,150	16.9%	3,172	18.0%	2,844	16.4%	△327	△10.3%
中国	1,380	7.4%	1,252	7.1%	1,258	7.2%	5	0.5%
アジア	1,698	9.1%	1,617	9.2%	1,899	10.9%	281	17.4%
欧州	1,729	9.3%	1,700	9.7%	1,817	10.5%	117	6.9%
その他（中東他）	6	0.0%	143	0.8%	2	0.0%	△141	△98.0%
エアフィルタ（国内）	2,659	14.3%	2,800	15.9%	2,680	15.4%	△120	△4.3%
売上高合計	18,605	100.0%	17,620	100.0%	17,390	100.0%	△230	△1.3%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

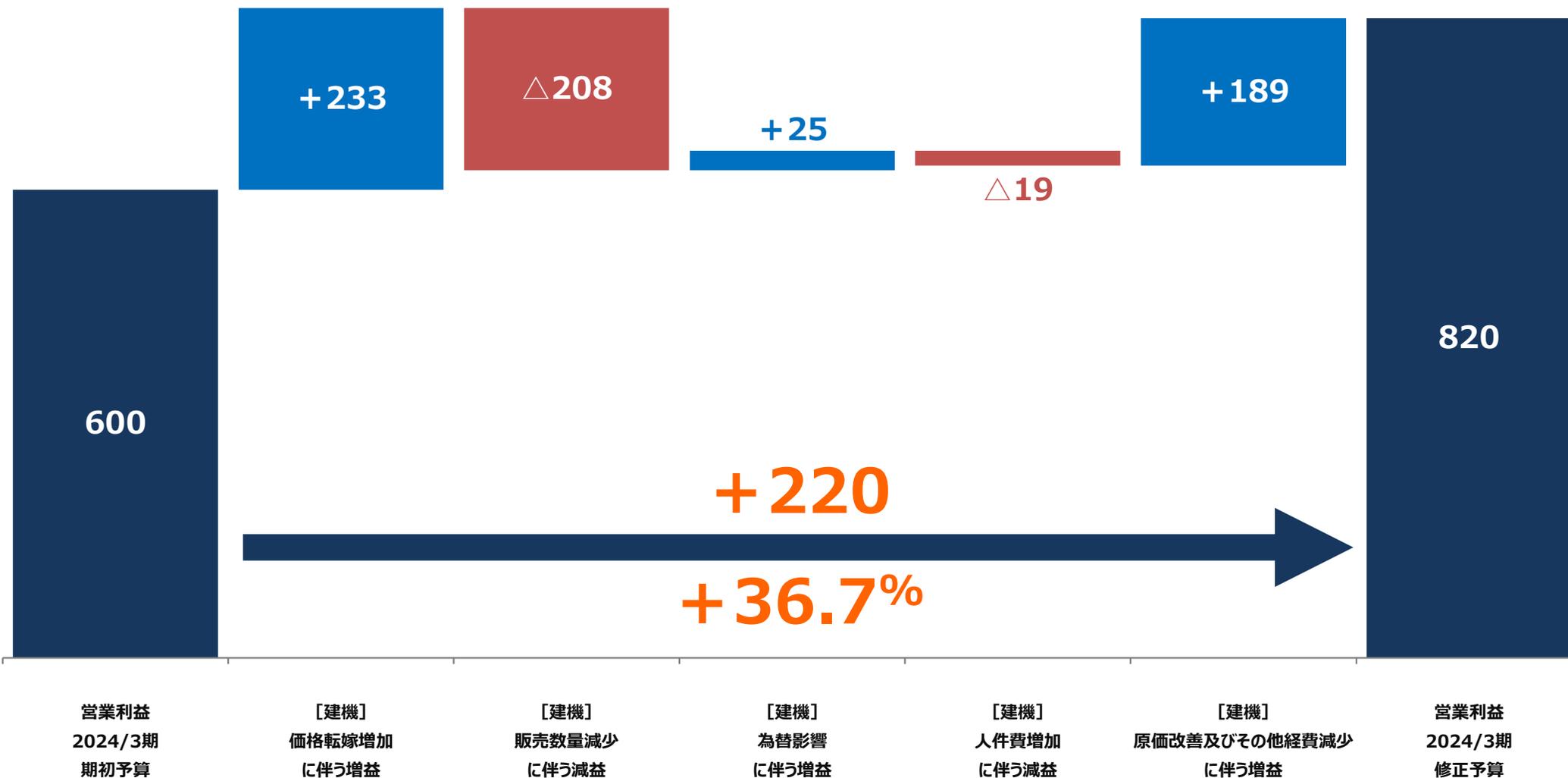
(単位：百万円)



(単位：百万円)

営業利益率
3.4%

営業利益率
4.7%



中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 見通し
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE^{※1}	2.2%	2.1%	2.1%	2.1%
総還元性向^{※2}	59.3%	960.4%	75.6%	205.3%

※1 DOE（株主資本配当率） = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100 = (ROE × 配当性向)

※2 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

環境

Ⅱ 市場を取り巻く環境

“建機市場を取り巻く環境”

- ロシア情勢に加えて中東紛争の深刻化により、全体的に不透明な状況
- 欧州をはじめ、主要地域すべてで新車需要は鈍化傾向
- 北米・アジア地域の稼働時間は堅調維持しているため、部品需要は安定的

	2024/3 Q1	2024/3 Q2	今後の見通し
日本	原材料価格の高騰・円安が継続 物流コストは改善傾向 建機の需要は堅調に推移	エネルギー・原材料価格や 物流コストの高騰があるものの 建機の需要は堅調	エネルギー・原材料価格や 物流コストの高騰により 建機の需要は軟調
北米	エネルギーコスト・原材料価格の高騰 円安が継続・物流コストは改善傾向 建機の需要は堅調に推移	主要原材料価格高騰の影響が 継続するものの 建機稼働時間と新車需要は堅調	主要原材料価格高騰の影響が継続 建機稼働時間と新車需要は減少傾向
欧州	エネルギーコスト・原材料価格高騰の 影響が継続・物流コストは改善傾向 需要は減少傾向	主要原材料価格高騰の影響により 需要減の見通しがあるものの 堅調	ロシア、ウクライナ情勢の深刻化 により需要減の見通し 主要原材料価格高騰の影響が継続
アジア	エネルギーコスト・原材料価格高騰の 影響が継続 需要は減少傾向	景気減速が予想されるものの 需要は堅調に推移	景気減速が予想され需要は軟調 主要原材料価格高騰の影響が継続
中国	経済活動の停滞により 需要の低迷が継続	経済の低迷により 新車の販売の需要は低迷	経済の低迷により新車の販売台数 は前年度を下回る見通し

- 生産計画台数（新車需要）は緩やかに減少傾向が続く見通し
- 鉱山機械需要及びメンテナンス需要は継続して堅調な需要環境を維持
- 価格調整の効果もあり、受注残高は同水準で推移する見込み

主要建機メーカー合計生産実績・計画（四半期推移） ※主要6社10%以上



**新車需要は
物量ベースでは
緩やかに減少**

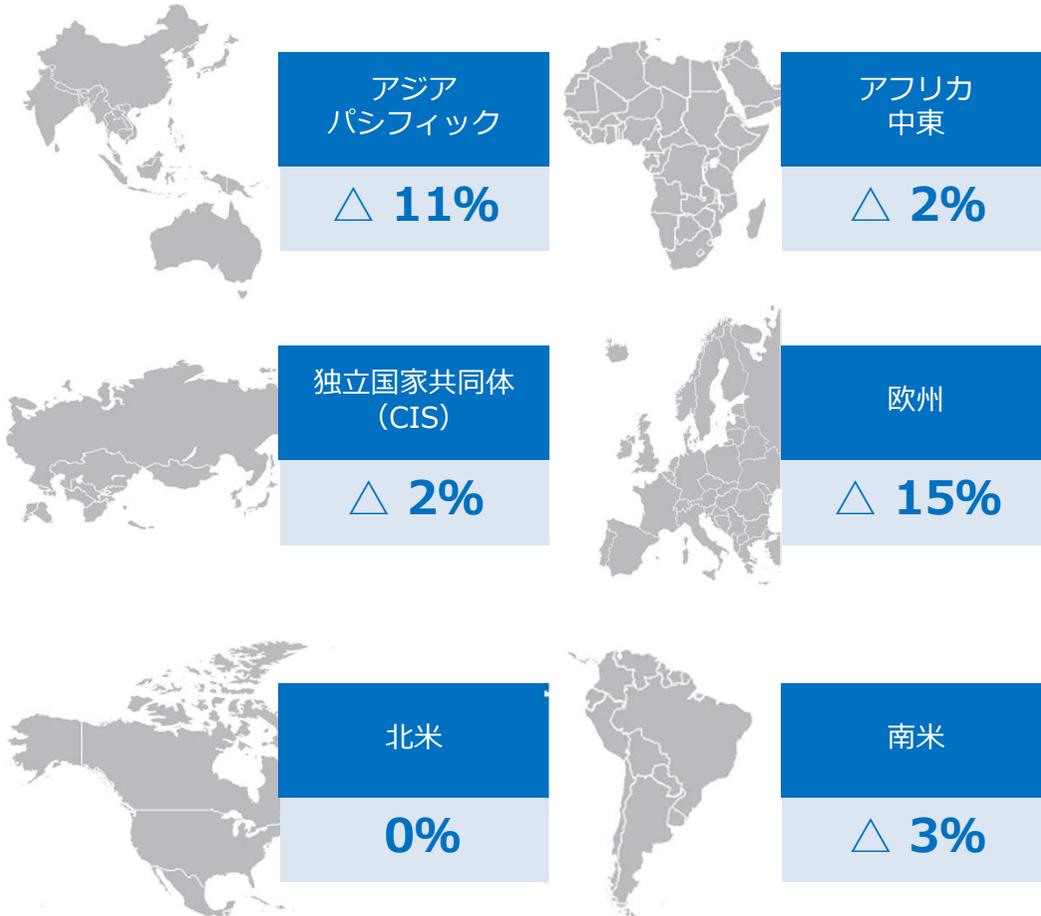
当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



**補給部品の
需要が底堅いため
受注は同水準維持**

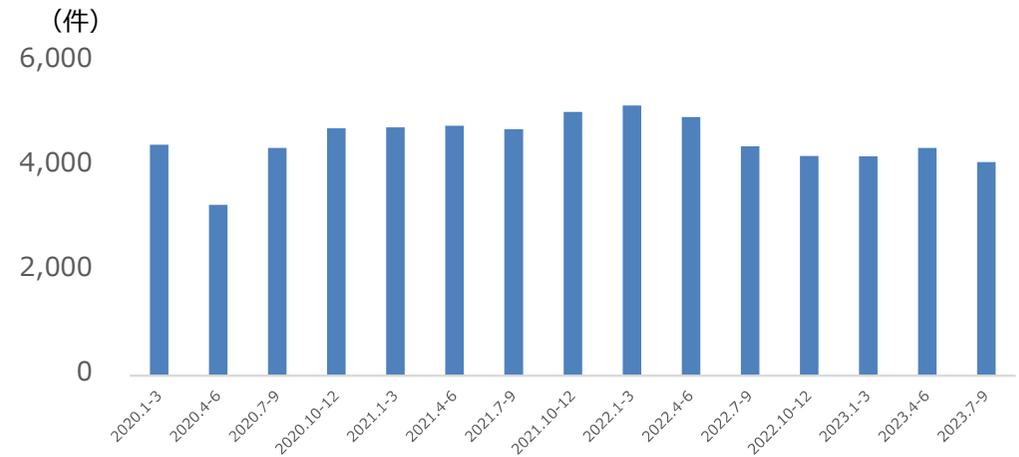
- 前年比マイナス地域が目立つが、不透明ながら北米は前年同等の需要を維持
- 北米の住宅着工件数は需給のバランスが崩れるも、横這いの状況が継続
- インフラ投資などの非住宅需要やマイニング需要は好調

地域別 建機需要の動向（指数）



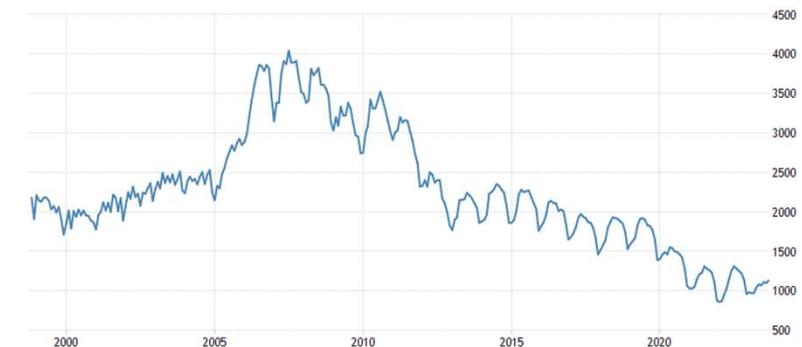
デマンド動向指数（22年対23年予想）

北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

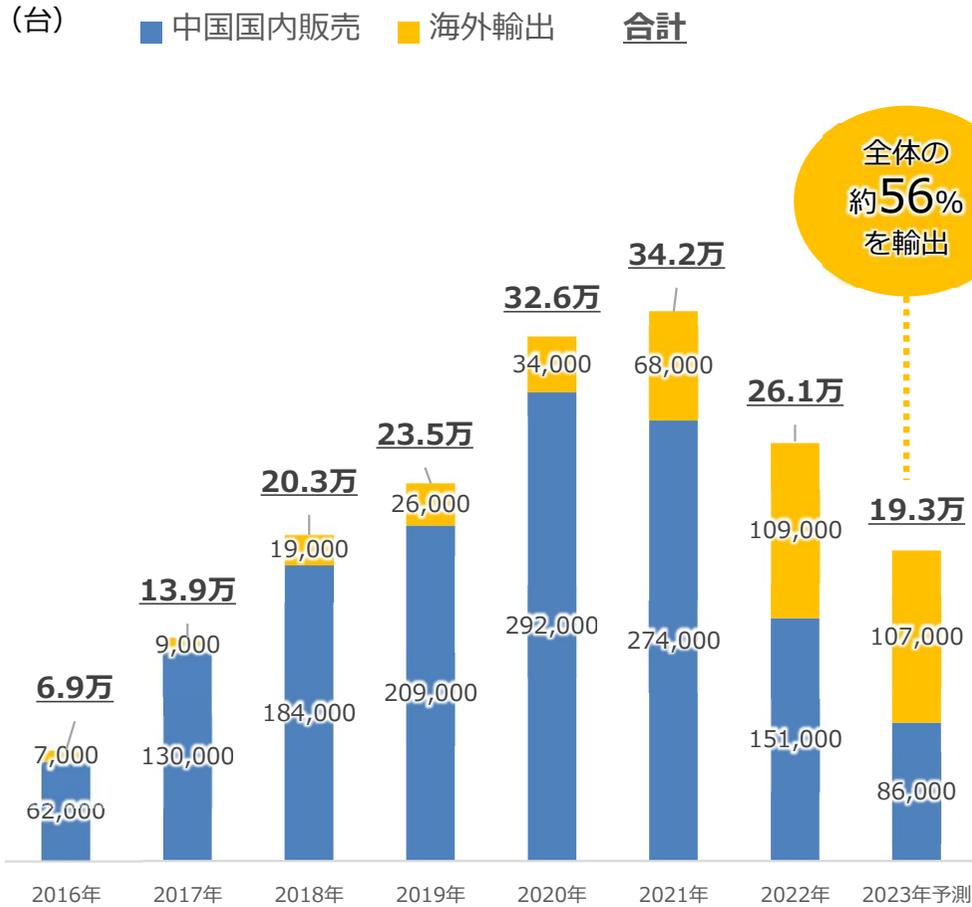
北米市場 総住宅在庫の推移



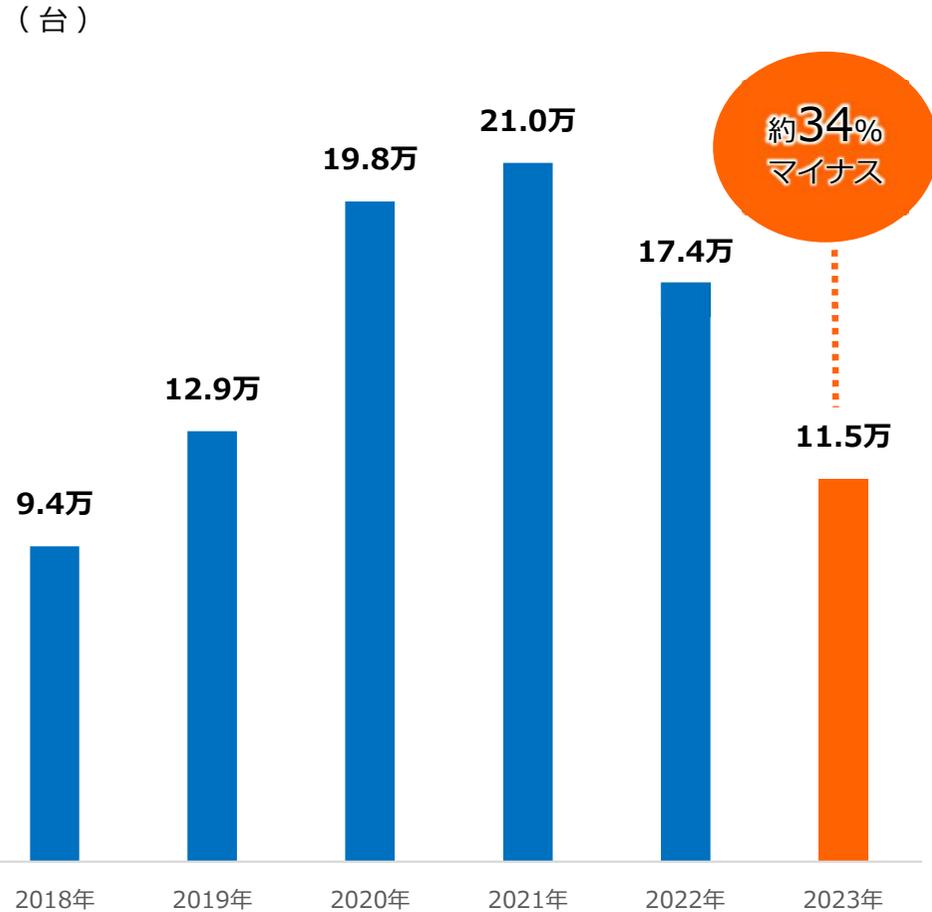
(TRADINGECONOMICSより引用)

- 市場の低迷・回復遅れで、23年は昨年より更に26%程度は台数減少する見通し
- 輸出割合は約56%と高水準だが、政府の輸出入政策により今後は不透明

中国年間販売台数推移



主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）



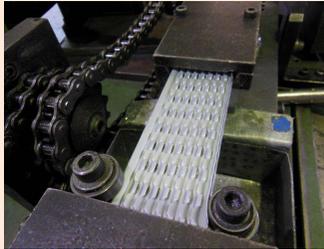
- コモディティの価格変動に対抗するため、原価改善の取り組みを強化
- 単なるコスト低減ではなく、環境配慮した材料・工法・体制の構築を推進する

開発設計

生産

流通

VA・VE活動



部材・工法の変更を検討

製造原価の見直し

- ◆ 設計開発段階での原材料、生産プロセスの見直し
- ◆ サプライヤーからのVE提案受入れと実施

生産性向上



オートメーション化推進

- ◆ 製造工程改善での生産性向上
- ◆ 協調ロボット導入による省人化
将来を見据えた人員不足への対応に備える

環境配慮型生産体制

- ◆ 製造プロセス用水道水の100%リサイクルを実現
- ◆ 原価低減と課題解決を両立

サプライチェーン適正化



クロスソーシングの推進

- ◆ 日本・ベトナム・フィリピン（セブ）のグローバル生産供給体制を構築、サプライチェーン見直しとコスト低減を実施

- 展示会では機械保証は延長化トレンドの一方で、模倣品メーカーの活動も積極化
- 製品及びユーザーマインドの両面から、純正部品の捕捉率向上に取り組む

建機用フィルタのトレンド

イミテーションを排除し

正規品による長期保証を実施する流れ

中国

東南アジア



イミテーション



当社の取り組み

イミテーション排除を
啓蒙する

セミナー活動の推進

イミテーションを
感知する

新製品の導入

セミナー活動

模倣品を搭載するリスクや純正品の性能を訴求するセミナーを建機メーカーと共に随時開催。サービス部品需要の高まりから引き合いは強い。

昨年
通期動員数
105名

今期
上期動員数
134名



開発製品でイミテーションを市場から排除

イミテーションの搭載機会減少

ヤマシン・ナノフィルタ®



YAMASHIN
Nano Filter

売上単価は既存製品の
約**2倍**
ロングライフ
化に貢献

イミテーション搭載の監視

ICで100%
イミテーションを感知



FILTER SAVER™



SWIFTROCK™

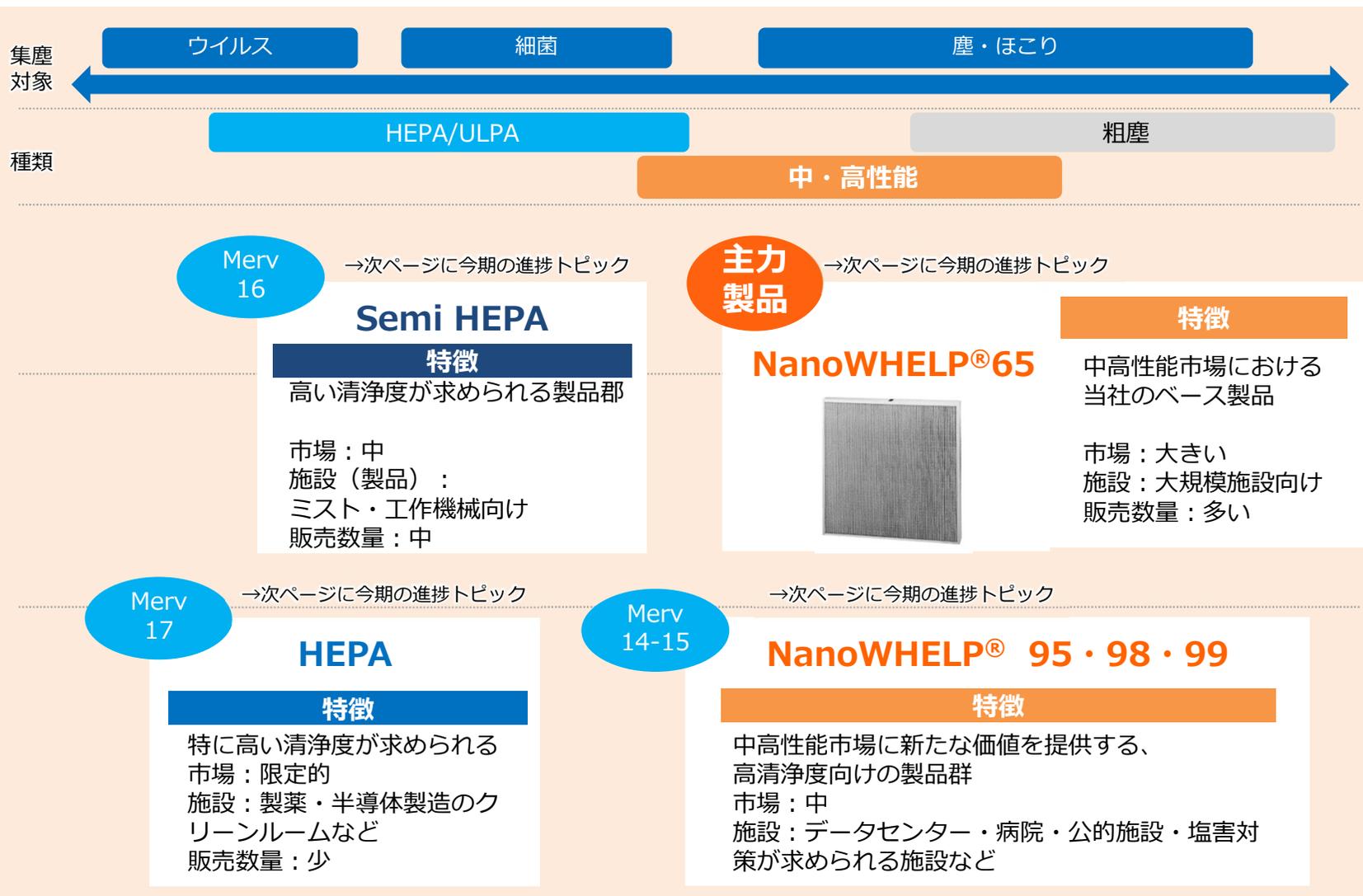


“エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- 各セグメントで安定した需要環境を維持
- ビル建物ではオフィスなどリピート需要が緩やかに回復傾向
- 一般工場は設備稼働率の上昇に伴って、メンテナンス需要も堅調を維持

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部の大型物件では、リピート需要が堅調。小型物件や地方では多少の買い控えあり。	大型物件は、全国的に需要は堅調を維持するものの、小型物件は不安定な状態が継続すると予想
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	大規模物件を中心に需要回復傾向。設備投資の引き合いも増加傾向。	大規模物件、改修工事ともに堅調を維持。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	設備投資の一服感から需要は横ばい。	設備投資の堅調な推移を予想
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅着工件数は緩やかに回復傾向。	住宅着工件数は一旦落ち着くと予想。新築住宅着工数は長期的に右肩下がり予想。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	コロナ渦も落ち着き公共交通機関の交換需要が回復傾向。	鉄道の利用客回復を受けて交換需要は堅調を維持。

- 独自開発のナノファイバーろ材を用いたNanoWHELP®のラインナップ拡充が進展
- 特徴であるロングライフ化と低い空気抵抗で市場開拓を進める

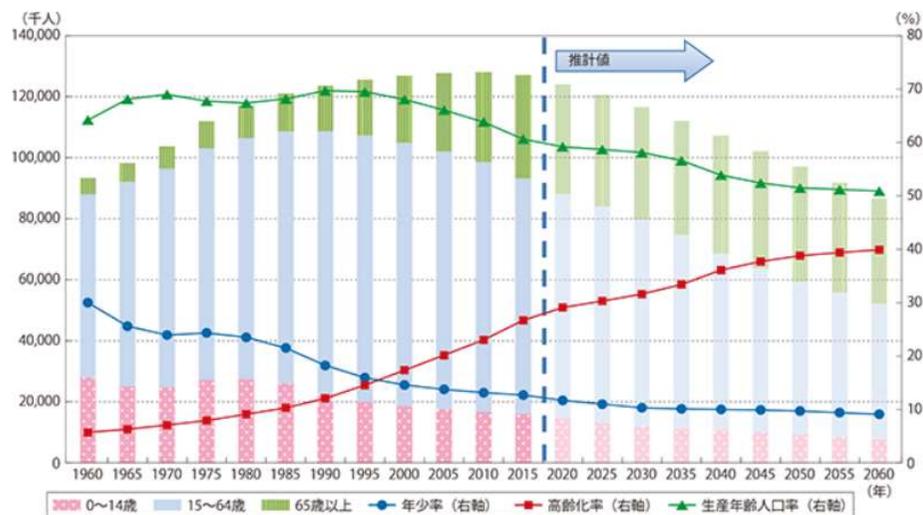


独自開発素材である
ヤマシン・ナノフィルタ®を
起点に各製品群に展開

- 生産人口の減少は着実に進んでいて、労働力不足が顕在化している状況
- オフィス需要は都市部の再開発プロジェクトを中心に今後も堅調推移の見通し

生産年齢人口の減少による 慢性的な労働力不足

図表1-1-1 我が国の人口構造の変化

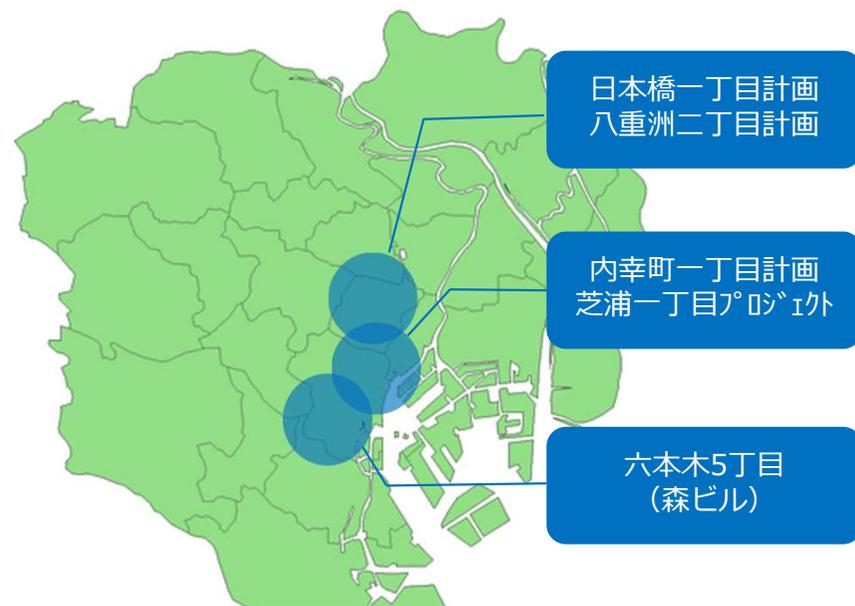


(出典) 経済産業省「ダイバーシティ2.0 一歩先の競争戦略へ 平成29年6月」より

生産年齢人口は最盛期の8700万人
(1995年) から7500万人と
13%以上減少、
労働力不足は慢性化する

交換頻度の長周期化など
労働工数減少による
対応が迫られている

東京23区：2030年までの再開発計画 (延床面積30万㎡以上)



- 2030年までは既に事業化された大規模再開発計画が継続
- 中高性能フィルタの需要が高い築浅の大型ビルは平均3%前後の空室率

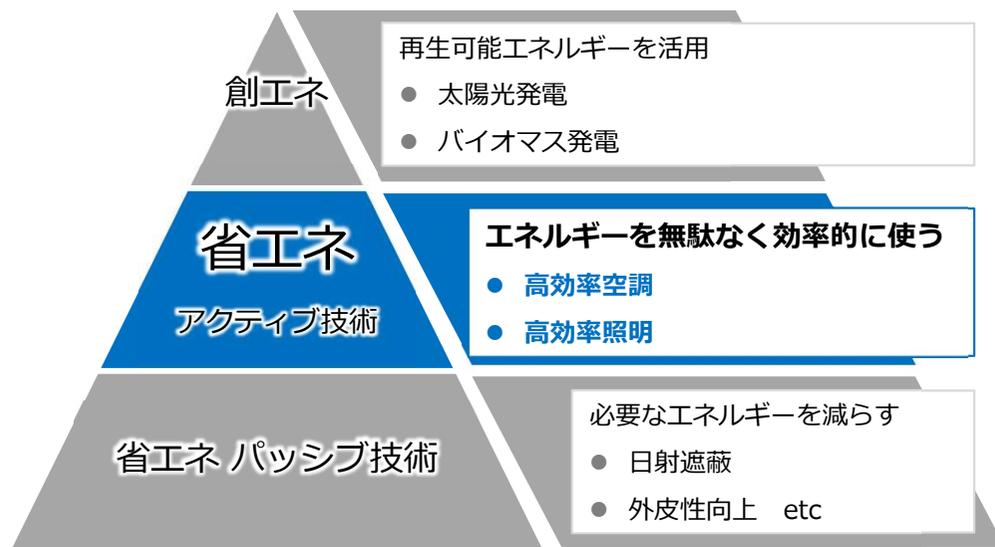
首都圏を中心とした
中高性能フィルタ市場は
2030年まで横ばいを想定

- エネルギーを創る創エネや、効率運用を図る省エネ機能を持つ建築物を環境省が推進
- 主力製品であるNanoWHELP®により新たな市場を開拓を図る

環境型ビルディング（ZEB認証）

環境型ビルディング（ZEB認証）とは？

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと

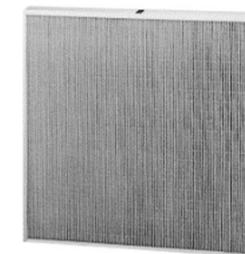


省エネの軸になるのは空調システム

エアフィルタはメインアイテム

世界初のナノフィルタ製エアフィルタ

NanoWHELP®



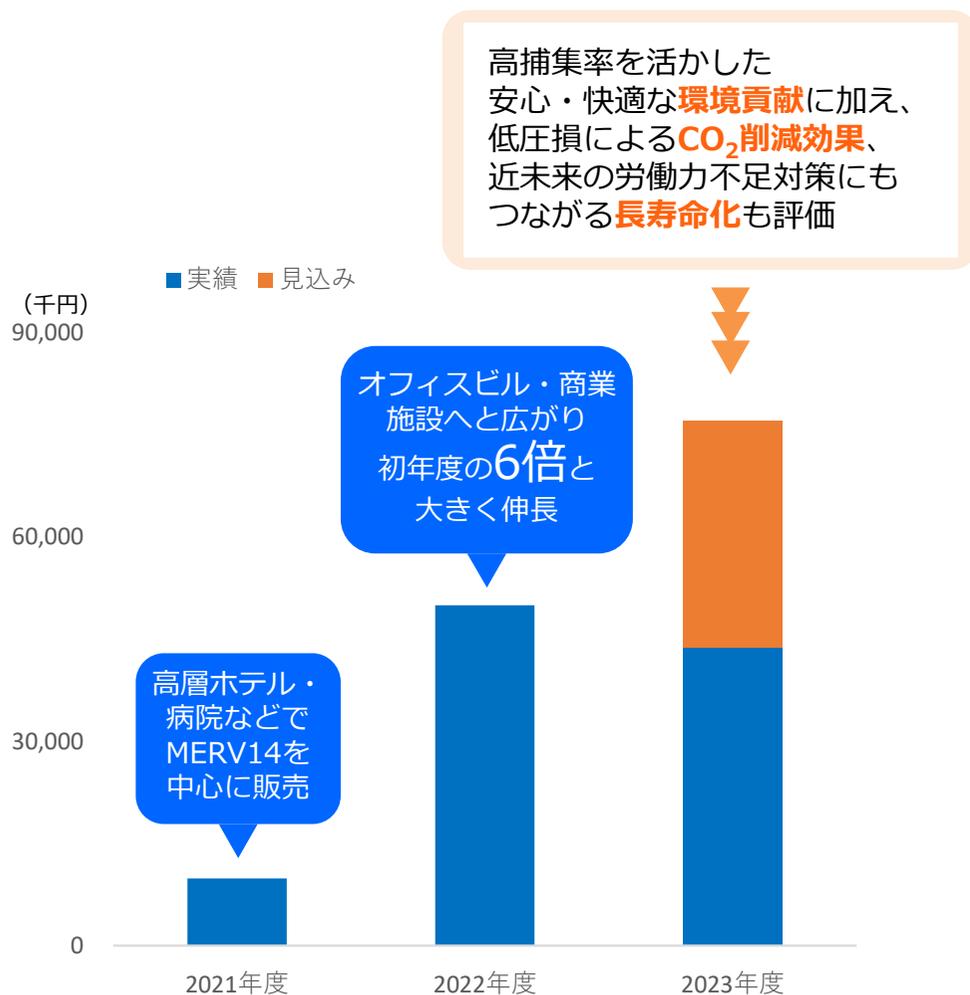
製品特徴

- ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一、ビル空調最高レベルの**MERV14を取得済**
- 高性能に加え、**CO2削減にも効果的**

PM2.5の捕集効率96%
初期効率80%以上

- ナノウェルプの高い訴求力をベースに、順調に売上は拡大中
- 多種多様な建築物での採用実績を積むことで、業界横断的に販路を開拓する

NanoWHELP 販売数量・販売実績の推移



導入状況

一般空調から**環境貢献の分野へ**

データセンター、病院、オフィスなど

各分野で大規模な物件へ展開

地域基幹病院



都内有数の規模を誇る多摩地区の地域基幹病院。同地域でのコロナ対策の中心でもあった。その規模ゆえ、常駐の設備保守会社が年間通してメンテナンスを実施しており、工数削減は必須。ゆえに長寿命、最低でも2年保つことが採用条件であった。

データセンター



大手ITソリューション事業者のデータセンター。既存メーカー品をグレードアップさせる形で採用決定。MERV13指定に対して対応したフィルタであると同時にコストパフォーマンスに貢献したNano WHELPの長寿命という特性が採用要因になった。



未来

Ⅲ 今後の戦略



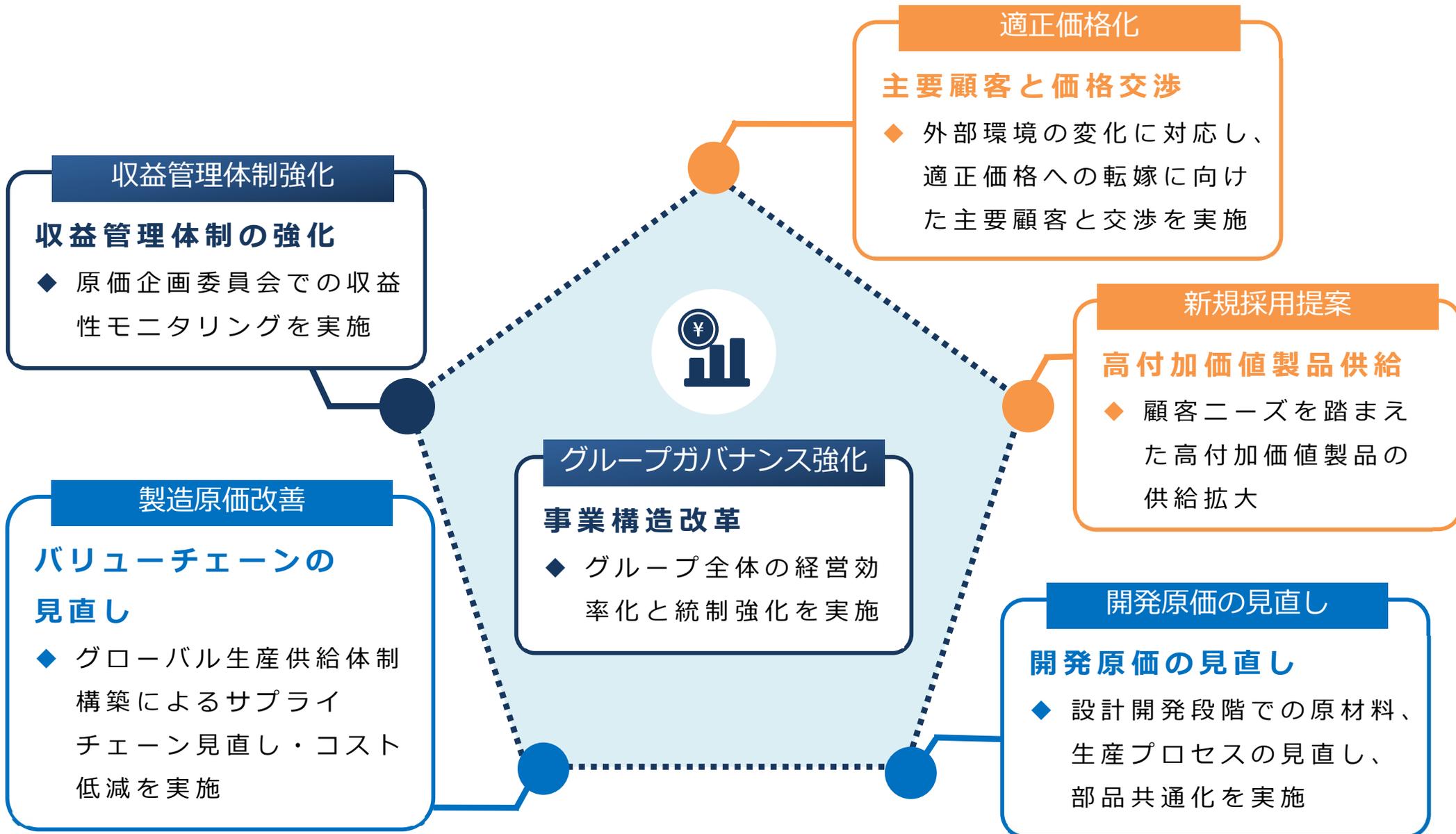
本業の稼ぐ力の改善と
経営基盤の再構築



ESG経営の
実践



資本コストや株価を
意識した経営の実現



目指すべきこと
サステナブルな社会の実現

取り組むべきテーマ



事業を通じた強みの発揮

The Specialist in Filtration
YAMASHIN

ESG経営の実践
モノづくりを極める技術マイスター
イノベーション創出力

建機 エアー

仕濾過事
ろかじにつかふる

- ESGの取り組みをまとめた「サステナビリティレポート2023」を発行



サステナビリティレポート2023

今年の主な掲載内容

トップメッセージ

社長・副社長の対談



環境配慮製品
特集

中長期
非財務KPIの設定

カーボンニュートラル
達成に向け
Scope1, 2, 3開示開始

社外取締役
インタビュー

建機用フィルタ

既存領域の深耕

高付加価値
フィルタ

電子制御化
の推進

貨物鉄道
農業・産業機械

新規領域の探索

建機用フィルタビジネス
高付加価値フィルタ製品展開

- ・油圧用
- ・トランスミッション用
- ・燃料用

次世代油圧システムを見据えた
センサーによる電子制御化

新規分野開拓

貨物鉄道用
農機用・産業機械用

濾材開発

ロングライフ/ 環境配慮型素材開発

- 石油由来のPET樹脂
- バイオマスPETろ材開発
- 生分解性素材開発
- リサイクル循環

ろ材

新規事業領域

YAMASHIN Nano Filter®
を応用した新素材領域への進出



導電性素材

バイオマス
素材

シート素材

新・耐熱素材

M&A

エアフィルタ

営業戦略の強化



代理店ビジネス（多品種/小ロット）

- ・ビル空調用
（プレフィルタ・中高性能フィルタ）
- 直接販売（高浄度 HAPA/ULPA）

NanoWHELP®



2024年3月期は
本業の稼ぐ力の改善、ESG経営の実践、
経営基盤の強化に注力

2024年3月期 通期決算発表
(2024年5月中旬)

新中期経営計画の公表を予定

目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2024年3月期業績見通し
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

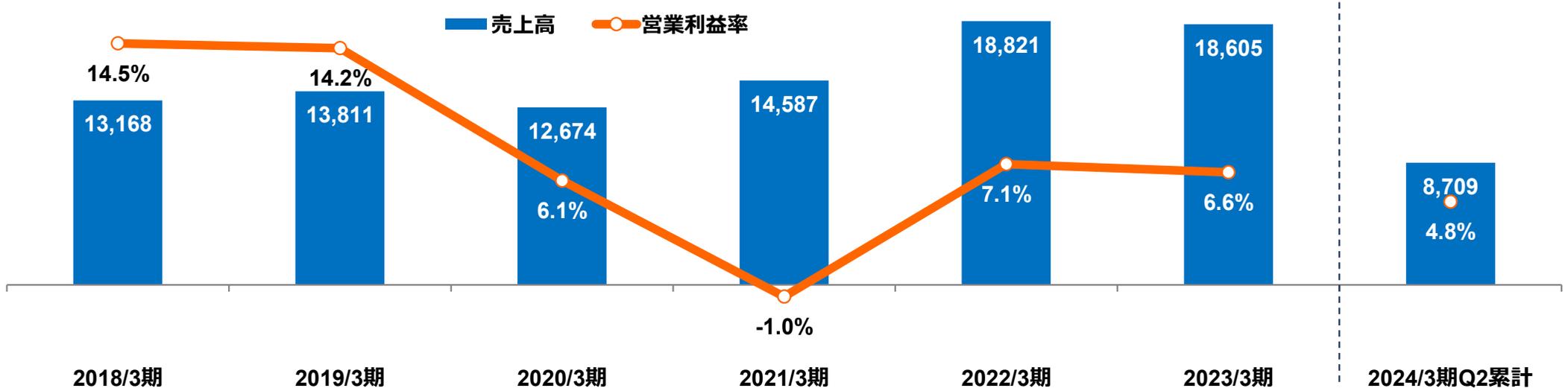
決算

参考資料

②財務ハイライト

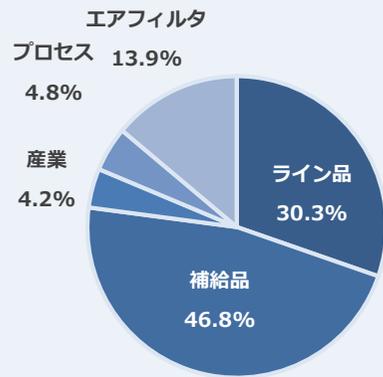
売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

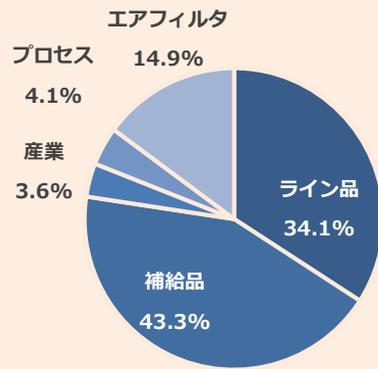


製品別売上高

2023/3期Q2累計

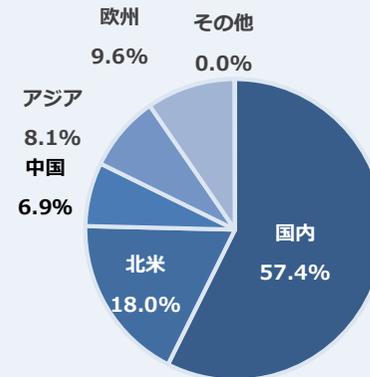


2024/3期Q2累計

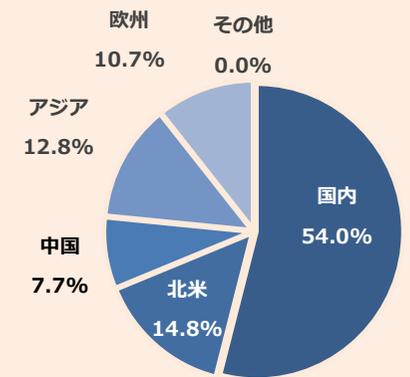


地域別売上高

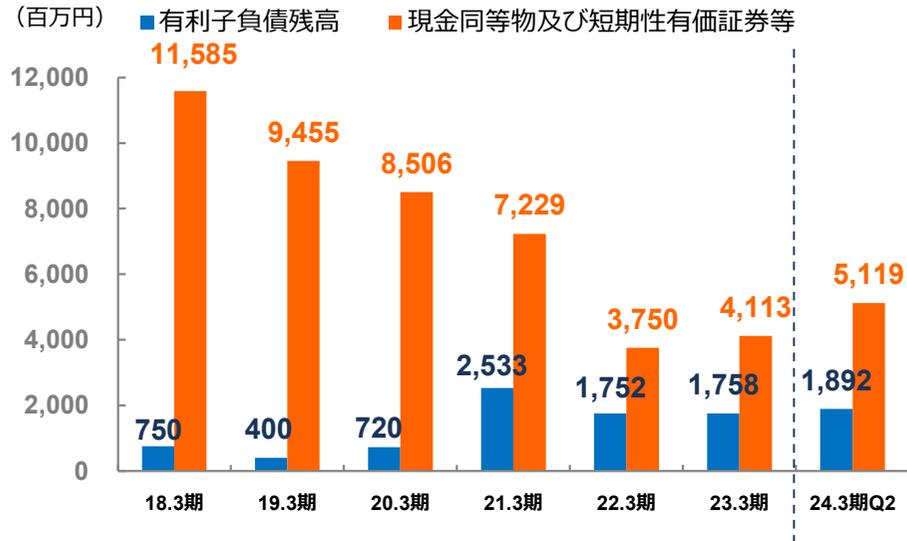
2023/3期Q2累計



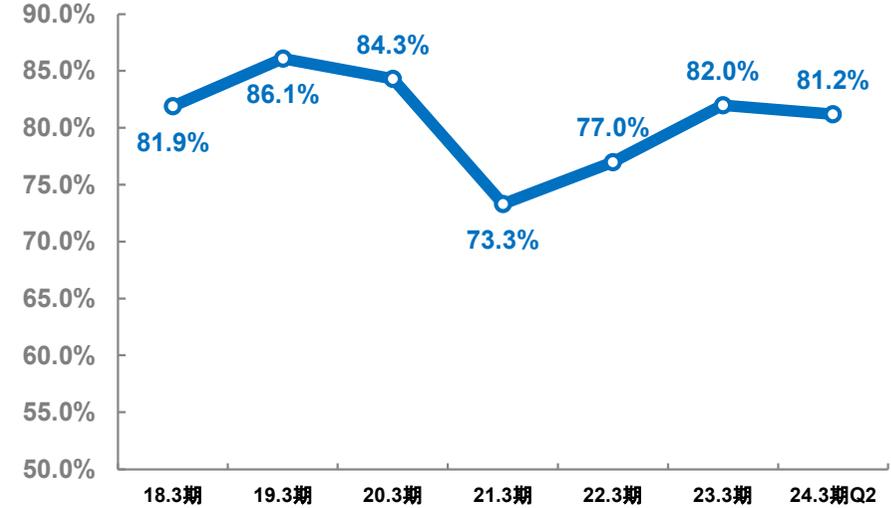
2024/3期Q2累計



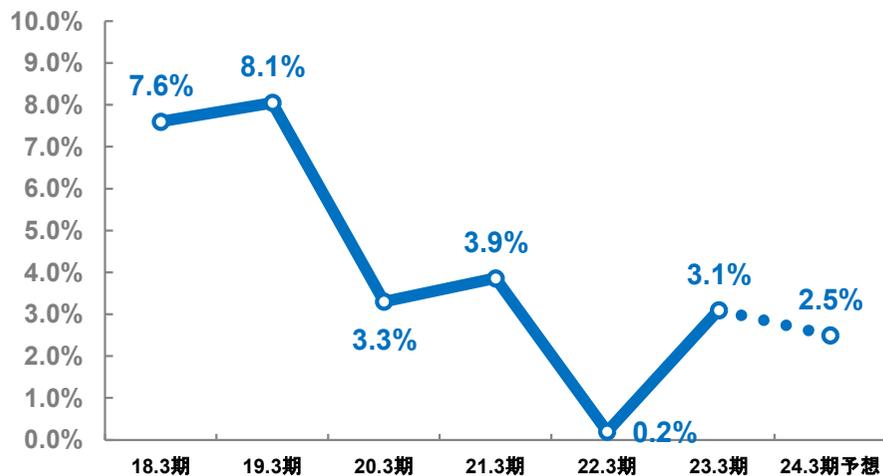
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



株主資本比率

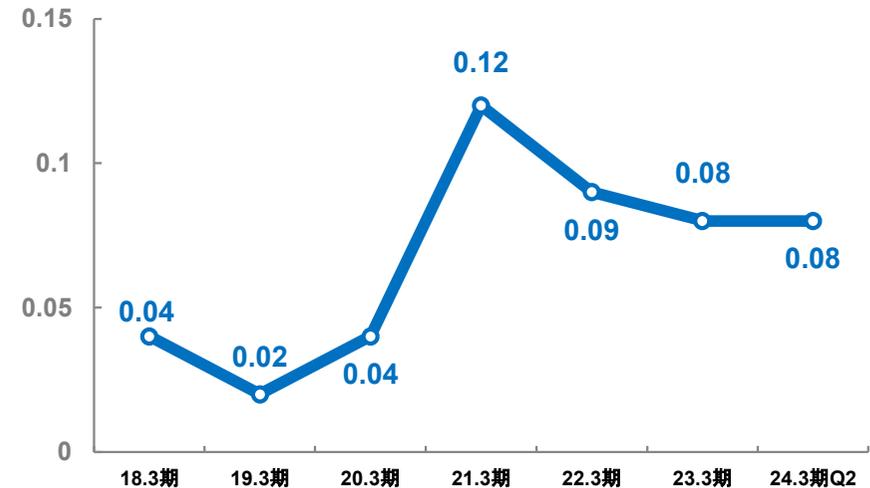


ROE



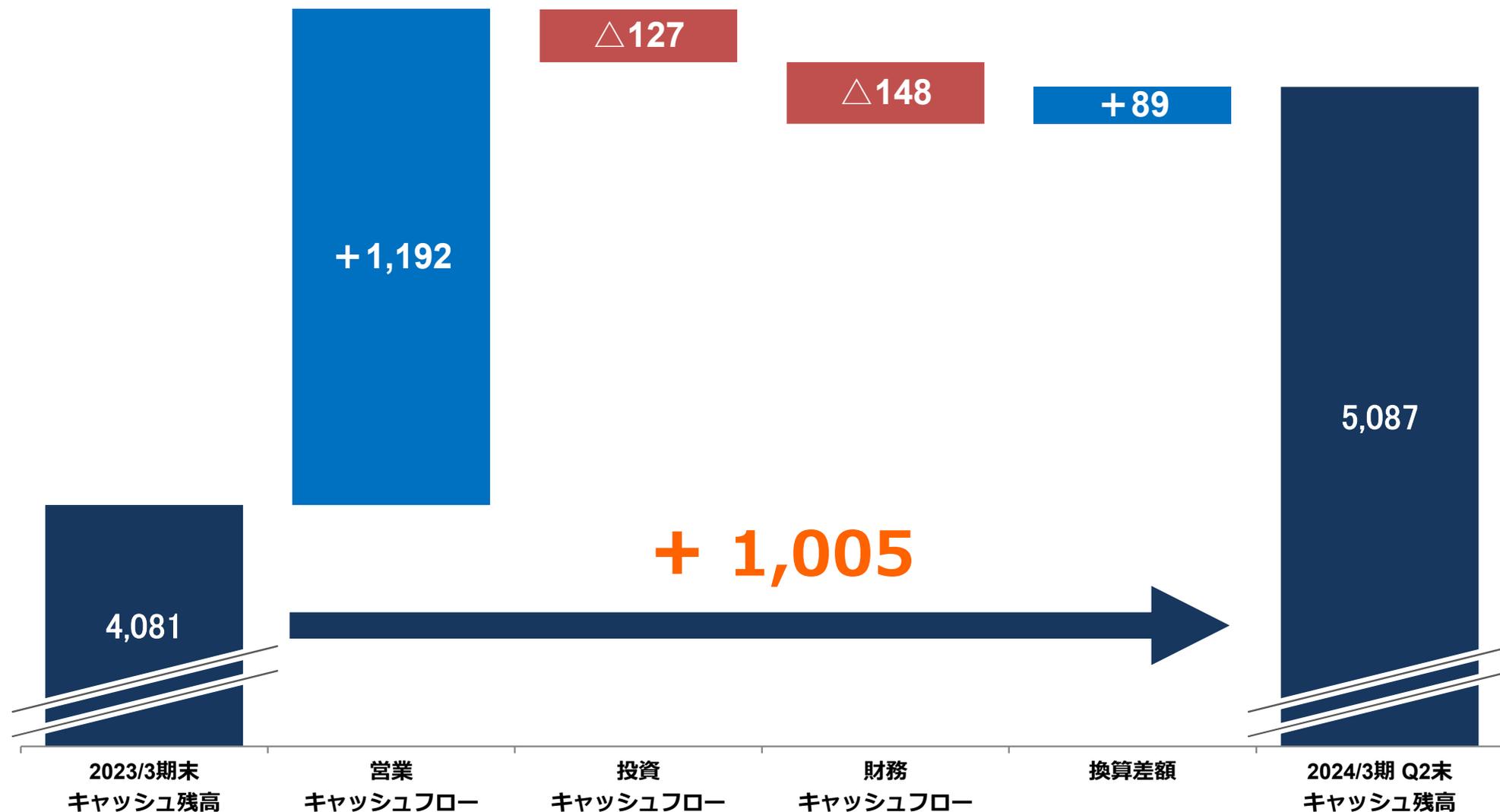
※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)



※1年未満に満期が到来する長期性預金(2023/3月期末 32百万円・2024/3月期 Q2末 32百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

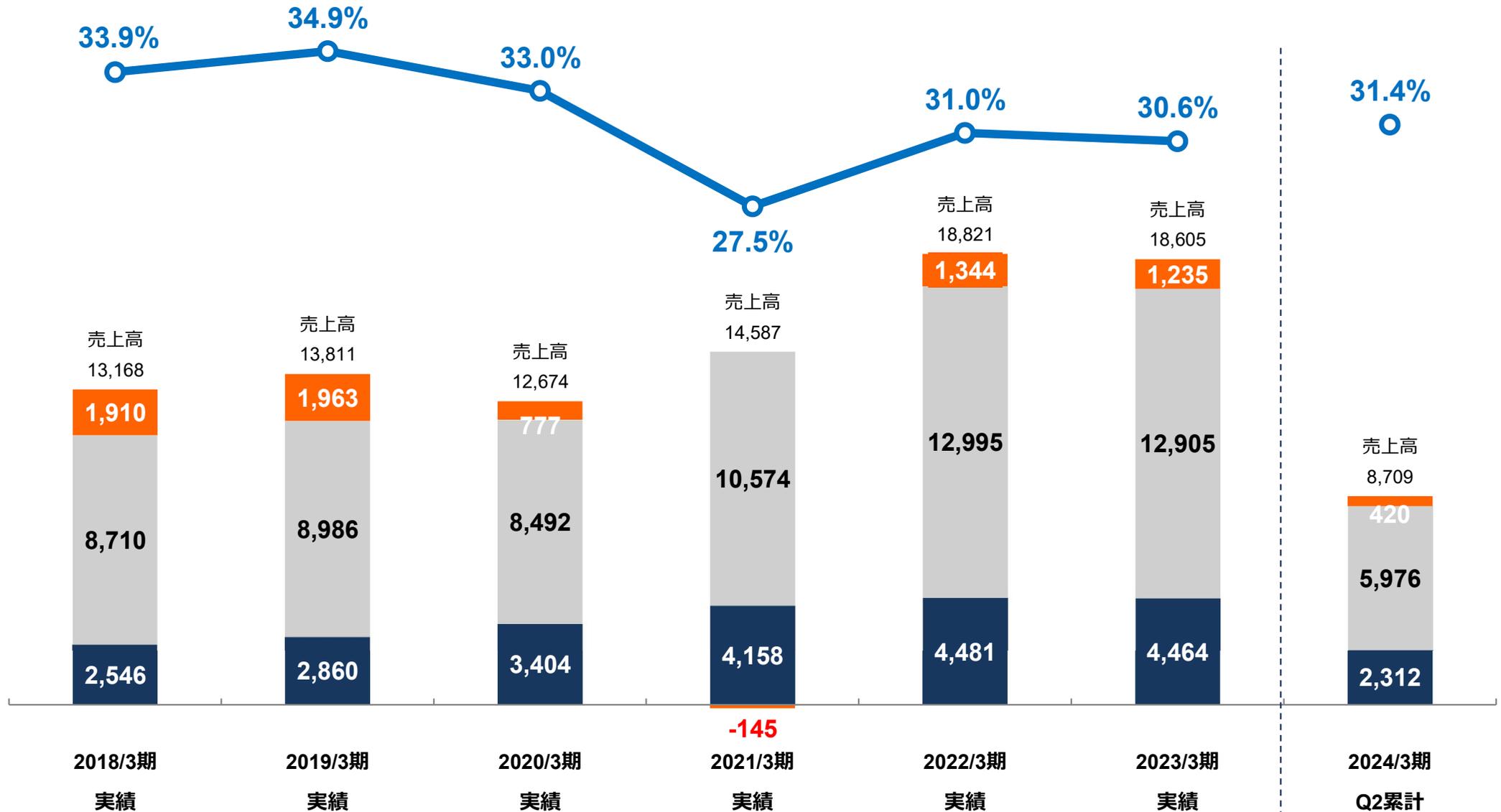
為替マリーの状況 (2023/4-9)

(単位：百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース (10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥7,800	60%	¥6,300	53%	¥1,500	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$31.7	34%	\$32.8	38%	\$-1.1	¥141.0	¥126.90	¥-14.10	¥15.51	¥155.10	¥14.10	¥-15.51
EUR	€4.2	5%	€2.3	3%	€1.9	¥153.4	¥138.05	¥-15.34	¥-29.14	¥168.73	¥15.34	¥29.14
PHP	PP1.4	0%	PP209.2	4%	PP-207.8	¥2.5	¥2.28	¥-0.25	¥52.57	¥2.78	¥0.25	¥-52.57
THB	฿41.0	1%	฿17.5	1%	฿23.50	¥4.1	¥3.65	¥-0.41	¥-9.52	¥4.46	¥0.41	¥9.52
VND	0.0 đ	0%	254.3 đ	1%	-254.30 đ	¥0.6	¥0.54	¥-0.06	¥15.12	¥0.65	¥0.06	¥-15.12
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥44.54	-	-	¥-44.54

(単位：百万円)

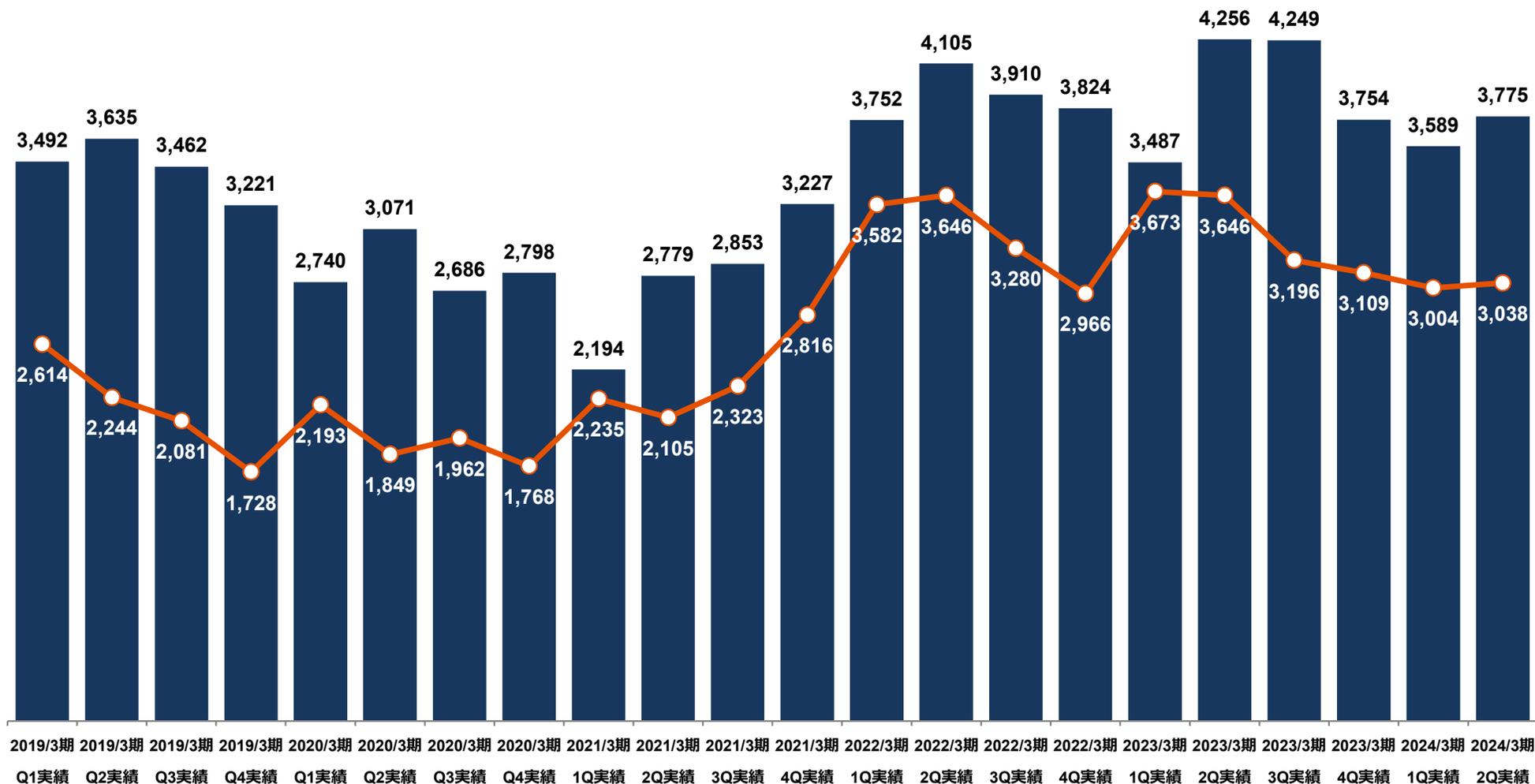
■ 固定費 ■ 変動費 ■ 営業利益 ○ 限界利益率



(単位：百万円)

■ 売上高

○ 確定受注残高



※ 売上高はヘルスケア売上を含めておりません。



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680
E-mail ir@yamashin-filter.co.jp